

第27回
風花
随筆文学賞

あなたの体験

想いをこぼすに



顧問
津村 節子

1928年福井市に生まれる。
1965年「玩具」で芥川賞、1990年『流星雨』で女流文学賞、1998年『智恵子飛ぶ』で芸術選奨文部大臣賞、2003年恩賜賞・日本藝術院賞、2011年「異郷」で川端康成文学賞、『紅梅』で菊池寛賞を受賞。現在、日本藝術院会員。主な小説に『炎の舞い』『絹扇』、エッセイに『風花の街から』『明日への一步』ほか多数。



特別審査委員長
出久根 達郎

1944年茨城県に生まれる。
1992年『本のお口よごしですが』で講談社エッセイ賞、翌年『佃島ふたり書房』で直木賞、2015年『半分コ』で芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。2016年から2020年日本文藝家協会理事長。現在は副理事長を務める。主な小説に『おんな飛脚人』『漱石センセと私』、エッセイに『古本綺譚』『作家の値段』『本と暮らせば』など著書多数。

「風花(かざはな)」とは、雪が舞い散る様子を花に例えたもの。
この文学賞は、福井県出身の作家津村節子氏の随筆集『風花の街から』にちなんで始められました。

募集要項

- 内容 随筆(エッセイ)
・テーマは自由(人とのふれあい、家族や旅の思い出、ふるさとへの思い、世の中の動きについて考えたことなど)
- 応募資格 高校生以上
- 応募料 無料
- 締切 〈一般の部〉 令和5年10月31日(火) 当日消印有効
〈高校生の部〉 令和5年12月15日(金) 当日消印有効
- 発表 令和6年2月下旬ごろ
(入賞者に直接通知するとともに、福井新聞紙上にて発表します。なお、発表後、ホームページ上に入賞者名を掲載します。)
令和6年3月に福井県で授賞式を行います。
最優秀賞、優秀賞、U30賞の受賞者の旅費を負担します。
(詳細はホームページ)
- 著作権 入賞作品の諸権利は、主催者側に帰属するものとします。
(入賞作品は、本文学賞の趣旨に沿って、入賞作品集や新聞、主催・共催団体等のホームページ・広報誌等で公表されます。)

- 賞

〈一般の部〉	最優秀賞	1名	30万円
	優秀賞	若干名	5万円
	U30賞	1名	5万円
〈高校生の部〉	最優秀賞	1名	10万円(図書カード)
	優秀賞	若干名	3万円(図書カード)
	佳作	若干名	5千円(図書カード)
	奨励賞	20名程度	3千円(図書カード)
	学校賞	300編以上	
- 審査委員 特別審査委員長 出久根 達郎(作家)
委員 増永 迪男(山岳エッセイスト)
中島 美千代(作家)
大河 晴美(仁愛大学人間学部教授)
佐藤 哲也(福井新聞社文化生活部長)
大辻 由美子(福井県高等学校文化連盟代表)

応募先

〒918-8113 福井市下馬町51-11
風花随筆文学賞実行委員会事務局(福井県ふるさと文学館内)
TEL (0776) 33-8866 Eメール: kazahana@pref.fukui.lg.jp
URL: https://www.library-archives.pref.fukui.lg.jp/

